お肌の話
第118回

アトピー性皮膚炎がなかなか治りません
新しい飲み薬が承認されました

立川皮膚科クリニック
www.tachikawa-derma.com

治療してもかゆみがなかなか治まらないアトピー性皮膚炎の最新治療について、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医で、立川皮膚科クリニック院長の伊東秀記先生に聞きました。

―アトピー性皮膚炎について教えてください

「アトピー性皮膚炎は、皮膚の乾燥、バリア機能の低下、皮膚への刺激やアレルギー反応によって起こります。かゆみのある湿疹が良くなったり、悪くなったりを慢性的に繰り返します。症状はさまざまあり、個人差もあります」

―治療方法について教えてください

「皮膚のバリア機能を補う治療（保湿）とステロイド抗炎症性外用薬や抗アレルギー剤を使用し、かゆみや炎症を抑える治療を行います。いくつかの薬剤を組み合わせて治療を行っていきますが、近年新しい薬が増え、治療の選択肢が広がってきました。最近ではディピルマブ（自己注射）加え、昨年末にウパダシチニブが、今年8月にバリシチニブが承認・保険適用となりました。どちらも飲み薬で、ジャック阻害薬と呼ばれるものです。炎症の信号を伝える経路のひとつジャック・スタット経路をブロックすることで、炎症やかゆみを引き起こす信号が細胞核に伝わらないようにし、アトピー性皮膚炎による症状を抑えます。

今までの治療で十分な効果が得られなかった人が対象である、年齢によって服薬できる、できないがあるなど、それぞれ特徴がありますので、詳しくは皮膚科の医師に相談してください」

アトピー性皮膚炎の症状

院長：伊東秀記
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、東京慈恵会医科大学医学部卒業

問い合わせ
TEL042-843-1377
JR「立川」駅南口徒歩2分

休診日：日曜、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30～13:30	○	○	○	○	12:30まで受け付け	○
15:00～19:30	○	○	○	○	18:30まで受け付け	17:30まで受け付け

2021年9月24日付　「リビング多摩」に掲載されました